

一 争議ノ近因

然レニ今會社ノ製呂四月末納期ノ多ク其ノ内情ヲ知ル勞正會ハハノ極
ヲ決メテ一舉ニテテノ要求ヲ為サハハスヤ會社側ニ於テ之ヲ容認スルニ至ルハ
トテ準備中ノ折柄偶々四月二十日、懇談會委員改選日ナルヲ以テテテノ決
議ニ基キ公會委員公選ヲ迫リ懇談會ハ指名委員十三名一般選擧ニ
ヨル委員十三名計二十六名ト立引續キ前項六ヶ条ノ實行ヲ迫リルモ何レモ
拒絶セラレタルヲ以テ急遽務部會ヲ用キ且當時吳市ニ於ケル勞働問題
演說會ニ未接シ居リル總同盟大阪聯合會幹部藤岡文六外四名及福
岡縣編入特別要視察人浅原健三外二名ヲ招致シ對策ニ関シ議
結果非常手段ヲ以テ飽ク迄一抗スルニ決シ翌二十四日委員選擧
ハ全部棄權セシメ同時ニ急業ニ出スヘク画策セリ

一 第一面臨時休業及職工解雇

越、翌二十四日委員選擧ヲ為シルモノハ僅々三十名ニテ其他ハ全部棄
權シ且ツ勞正會ニ屬スル職工全部急業ニ盛シニ示威運動ヲ示シ其他ノ
職工モ自然其ノ免弊ニ圧セラレ全然急業状態ヲ示セリ(形勢不穩ニテ
以テ特ニ急業察官三十名ヲシテ取締セシム)於茲會社ハ形勢不利ニテ
ナニス以上姑息ノ手段ヲ講スルハ策ノ得クルニテラストテ以際工場一時閉鎖ノ上
予定ノ通り不良職工全部ヲ職首スル決シ今日正午ニ至リ二十五日ヨリ三日間臨時
休業スルヲ發表シ今時ニ勞正會幹部其他不良職工等合計五十二名ノ解
雇通知書ヲ郵送セリ

一 争議ノ経過

勞正會側ニ於テハ會社ノ強硬ナル態度ニ意外ノ感ニ打ツレ且ツ何レモ憤激シ會
社が今更突然多數ノ會員ヲ職首セシム何等ノ理由ナシトテ解雇通知書四十一名
分ヲ取証シ二十六日括返付スルト共ニ以際死力ヲ盡シテ會社ニ對抗スルニ決シ
大阪総同盟其他各方面ニ打電シテ未接ヲ求メ勞正會本部ヲ争議團本
部ニ改称シ之ヲ改訂ヲ定メ救済ニ涉リ演說會檄文配布ヲナシテ會員ノ結